

職場で取り組む 健康づくり取組事例集

Vol.6



徳島県
みんなでつくろう！健康とくしま県民会議



- 株式会社アルス製作所
- 大塚テクノ株式会社
- 株式会社グローバル・アシスト
- 株式会社シケン



人生100年時代を迎える我が国において、誰もが生き生きと暮らすためには、いかに健康寿命を延伸し、生活の質の向上を図っていくかが大きな課題となっています。

徳島県では、県民の皆様が心身ともに健康で幸せに暮らせる徳島づくりを目指し、徳島県健康増進計画「健康徳島21」に基づき、ライフステージに応じた健康づくりを推進しています。

そうした中、糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防や重症化予防を図るため、バランスのとれた食生活、適度な運動習慣の確保を基本とした、「働き盛り世代」の生活習慣の維持・改善や、各種健診の受診などが重要となっています。

健康づくりに取り組む「きっかけ」や「継続」していくためには、周囲のサポートや社会環境を整えることが大切であり、特に職場での取組は、非常に重要な役割を担っています。

この事例集は、令和元年度「健康づくり推進活動功労者知事表彰（企業部門）」を受賞された各事業所における、健診受診率向上、受動喫煙防止対策、事業所独自の健康づくりの主な取組を御紹介しています。

事業主の皆様はじめ、広く事業所等でお役立ていただき、健康づくりに取り組みやすい職場環境づくりの参考としていただけると幸いです。

結びに、この事例集作成にあたり、御協力いただきました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和2年3月

徳島県保健福祉部健康づくり課

株式会社アルス製作所

事業所紹介



当社施工：阿波しらさぎ大橋

人々の通行を容易にする橋は、古今東西を通じて人々の夢と希望を運びました。こちらからあちらへの空間に橋を架けることは、理論的あるいは技術的なノウハウを必要とします。昭和25年の創業以来、橋を架けては地元の皆様に大変喜んでいただいています。

社名のアルス「ARS」とは、ラテン語で本来「技術」「技法」を意味する言葉で「芸術」を表します。高度で芸術的に洗練された製品を造ろうという私どものシンボルです。私たちは長年この課題に取り組み、技術者や機材と共に、経験を糧に日々橋梁を建設しています。

いつか必ず起こる災害に備え、命の道である橋梁を建設することはわが社の社会的使命であると自負しています。私たちは鋼製橋梁架設を通じて社会資本の整備に貢献します。



プロフィール

- ・所在地：徳島県小松島市金磯町8番90号
- ・事業内容：鋼製橋梁の製作・架設
- ・設立：昭和25年5月16日
- ・従業員数：60名

各種健診の受診率向上のための取組

特定健診受診率向上のための取組

■健康診断の実施

昭和58年10月より、毎年9月に社内にて特定健診を実施している。健診日は未受診者をできるだけ少なくするように第1健診日の2週間後に第2健診日を設定している。

工場作業員の一部対象者についてはじん肺検診も実施している。

■未受診者に対する受診勧奨

出張等で健診日に受診できなかった者については就業時間内に病院で随時健診を受診するように通知している。

■労働基準監督署への報告

特定健診、じん肺検診ともに労働基準監督署に報告書を毎年提出している。

■保健指導の実施

平成23年より特定保健指導該当者には特定健診終了後に保健師との面談を実施している。

受動喫煙防止対策の取組

屋外喫煙所の設置

■社屋内全面禁煙・屋外喫煙所の設置

平成22年11月より社屋内を全面禁煙とし、社屋外に喫煙場所を設置して完全分煙とした。



<室内禁煙表示>



<屋外喫煙所>

事業所での健康づくりの取組

様々な健康づくりの取組

■社内での健康づくりの実施

- ・創業時より毎朝始業前にラジオ体操を実施し、始業への意識の切り替えと健康維持に取り組んでいる。
- ・平成22年より、社屋出入口に消毒剤を設置し、インフルエンザ等感染症対策を実施している。
- ・平成28年より毎年定期健診時にストレスチェックを実施し、メンタルヘルスケアに取り組んでいる。



< 始業前ラジオ体操 >



< 消毒剤設置 >

■社外での健康づくり参加

- ・平成31年4月5日に、協会けんぽ徳島支部より「優良健康づくり事業所」に認定。
- ・平成23年より、毎年10月に産業医による講習会を実施。講習会では、禁煙対策や生活習慣病対策、熱中症予防などに関する内容を実施している。
- ・平成24年11月より徳島県鉄鋼協同組合主催の津波避難路ウォーキングに毎回参加している。避難場所や避難経路の確認に加え、体力づくりや相互扶助の絆の構築を目指している。また、平成26年より同組合が主催する健康づくり研修会にも毎回参加し、職員の健康に対する意識向上を図っている。



< 優良健康づくり事業所認定証 >



<産業医による講習会>



<ウォーキングに関する新聞記事>

健診・受動喫煙対策の実施状況

- 健診等の状況
 - ・ 特定健診受診率 95% (平成30年度実績)
- 受動喫煙対策の状況
 - ・ 建物内禁煙 平成22年11月から (屋外に喫煙場所を設置)
- 健康づくりの効果
 - ・ 完全分煙の実施により禁煙者の受動喫煙による健康被害の防止に効果を感じている。

大塚テクノ株式会社

事業所紹介

大塚テクノ株式会社は、創業以来、企業理念として、「我社は世界的視野に立ち、顧客満足の為に新しい価値を創造し、広く社会に貢献します。」を掲げ、医薬品の輸液容器のプラスチック部材を生産供給して参りました。

その成形技術を活かし、精密製品成形加工の分野にも進出して「医療製品」と「精密製品」を事業の柱として展開しております。

情報化社会の急速な進展と共に、プラスチック製品も一段と多様化、個性化が進み、あらゆる分野で品質の高さが求められるようになりました。従来の金属材料の代替、部品の軽量化、小型化、コストの低減というテーマに加え今後はプラスチックの機能を最大限に活かす為の技術革新が要求されています。

そのニーズに的確にお応えすべく高機能樹脂、エンジニアリングプラスチック、汎用樹脂をベースにした各種成形品を高度な成形技術力で新しい素材にチャレンジし、新しい機能、特徴を持った高付加価値製品を市場に提案すべく日夜たゆまぬ研究開発を続けております。



プロフィール

- ・所在地 : 徳島県鳴門市瀬戸町明神字板屋島120-1
- ・事業内容 : 医療用プラスチック容器部材・精密成形品の製造販売
- ・設立 : 昭和60年12月2日
- ・従業員数 : 452名(令和元年12月末)

各種健診の受診率向上のための取組

従業員の健診受診率向上に向けた取組

会社設立以降、社内の安全衛生委員会で健康診断の受診について重点実施項目として取り上げるとともに、社内掲示板等で全従業員へ案内する等、周知啓発を徹底して実施している。

健診受診日に関しても、交代勤務者が受診しやすいよう複数日設けるとともに、やむを得ない事情で受診できない場合は、別途産業医が対応するなどの配慮を行い、全従業員が受診できるよう工夫している。

また、精密検査の必要がある者に関しては、産業医と上司、人事部門が連携を図り、受診勧奨を行っている。

これらの取組により、健診受診率は99%まで向上した。

受動喫煙防止対策の取組

敷地内禁煙の取組み

平成17年に喫煙室を設置して、一部の部屋以外は敷地内禁煙とした。その後、平成20年に敷地内全面禁煙を実施し、社内での受動喫煙防止対策を推進している。

敷地内禁煙を実施する際には、喫煙による健康被害を訴え、健康意識の醸成に繋がる案内を実施。その後も社内掲示板等を用いて継続的に禁煙に関する案内を実施している。

また、トップ自らが、会議などの場で、喫煙者に対して喫煙による健康への悪影響や環境問題などに言及することで、禁煙への取り組みを促している。

全面禁煙のお知らせ

2008年4月14日

常務取締役 業務部長 近藤芳治

大塚テクノ株式会社では全社的（各事業所敷地内）に2008年5月1日（木）より、全面禁煙を実施することになりました。

この措置に伴い、各事業所の分煙室及び施設は2008年4月30日付けをもって閉鎖させていただきますので、お知らせいたします。

社員の皆様が健康で明るく生き生きと働く事ができなければ、医療関連事業に携わり、且つ環境問題に積極的に取り組む大塚テクノの使命を果たす事ができないと考え、今回の全面禁煙の措置を決定いたしました。

皆様のご理解をいただきたくお知らせ申し上げます。

以上

＜敷地内全面禁煙実施のお知らせ＞

事業所での健康づくりの取組

心と身体の健康づくり

■スポーツをととした健康づくりの取組

- ・会社設立以降、社内のスポーツ大会を年2回程度開催し、社員間の親睦や連携を図るとともに、心と身体の新健康増進を図っている。
- ・平成17年からは、年2回程度、取引先主催のソフトボール大会にも参加し、取引先との連携強化を図りながら社員の健康増進も図っている。

■メンタルヘルスセミナーの開催

平成23年より、毎年1回、「メンタルヘルスセミナー」を開催。セミナーには、一般社員のみならず管理職や役員も多数参加しており、メンタルヘルスに関する知識習得の場としてだけでなく、一般社員と管理職や会社役員との交流の場にもなっており、快適な職場環境づくりにつながっている。

■その他の取組

- ・平成23年より、外部機関による「24時間電話健康相談窓口」を開設。外部機関を活用することで、プライバシーが守られ、会社や他人に知られることなく、社員及び家族の心と身体についていつでも相談できる体制を整えた。
- ・インフルエンザ対策として、アレルギー体質の者を除く全従業員に対して会社負担で予防接種を実施している。

<社内スポーツ大会の様子>



健診・受動喫煙対策の実施状況

■ 健診等の状況

- ・特定健診受診率 99%

■ 受動喫煙対策の状況

- ・敷地内禁煙 平成20年から

■ 健康づくりの効果

- ・お昼休み等の時間を利用して、ウォーキングなどの運動を行う社員が増えた。
- ・ソフトボール大会への参加人数も当初より増加し、また、地元で開催されるリレーマラソンへ有志で参加するなど、健康に関する意識が高まっている。
- ・敷地内禁煙により、禁煙者が増えるとともに喫煙による健康被害に関する意識醸成に繋がっている。

株式会社グローバル・アシスト

事業所紹介



株式会社グローバル・アシストは、県内11店舗の調剤薬局と、小規模多機能型居宅、小規模デイサービス、訪問介護、高齢者向けマンション、介護用品センター、認定栄養ケアステーションによる、“医療・介護・食”を通じた、包括的なサポートによる地域貢献を実践しております。

企業理念である『安心(きもち)を手渡し、よりよい明日を創造(つくる)』を実践し、従業員の健康維持・増進を支援する取り組みを強化し、社員一人ひとりが心身ともに健康でいきいきと働くことができる環境づくりを推進しております。

プロフィール

- ・所在地 : 徳島県徳島市北常三島町2丁目48-1
- ・事業内容 : 調剤薬局、介護事業所、他
- ・設立 : 平成10年11月
- ・従業員数 : 140名

各種健診の受診率向上のための取組

健康診断、二次検診の積極的な勧奨案内

■健康診断受診率100%

健康診断受診日は、全て勤務時間内に設定し、管理部門が医療機関への予約・細やかなスケジュール調整を行うことで受診率の向上に努めている。

■二次検診の受診奨励

健診の結果、要治療・要精密検査となった従業員に対し、治療や検査を受けるよう勧奨することは、従業員の健康を守るうえでも非常に重要であると考えている。

当社では、持病ではなく初めて要治療・要精密検査などの診断結果が出た社員には、健康づくり担当者から受診勧奨の声掛けと、『精密検査等結果報告書』を渡し、対象従業員に再検査を受けてもらうよう促している。

■管理栄養士による栄養相談

健康診断の結果により食事面でのサポートが必要な職員には、自社の管理栄養士が栄養相談や日頃の食生活から自宅でもできる献立のアドバイスの支援できる体制を整えている。

受動喫煙防止対策の取組

禁煙相談の取組み

■全店、屋内全面禁煙

平成15年から、喫煙者へ禁煙のメリットを伝える研修会を不定期に実施し、たばこの煙から働く人の健康を守るための理解促進を図っている。希望する従業員には、禁煙パッチ・禁煙外来などの情報提供を行ったり、薬剤師による禁煙支援窓口を整備している。

■地域貢献

禁煙相談・禁煙指導をはじめ、健康相談の窓口を設置し、積極的に地域住民の皆様の禁煙支援活動を実施している。



健康とくしま応援団として
地域の健康づくりに貢献



禁煙相談・禁煙指導

事業所での健康づくりの取組

従業員のパフォーマンスを向上させる健康経営！

■予防接種の全額会社負担

各従業員自らに健康被害が生じないよう、インフルエンザ予防接種に関しても勤務時間内に設定し、費用の全額負担を行っている。さらに、感染者には医師の診断に基づいた出勤停止等の措置をとり、施設内感染リスクの低減にも努めている。

■女性支援

全職員の約8割が女性という会社風土において、生活と仕事を調和させるための支援は欠かせない。

当社では、女性特有の健康課題、特に不妊治療を行っている女性従業員が、周囲に気兼ねなく治療に専念し、安心して仕事が続けられるように、業務分担や人員配置、柔軟な勤務形態等の支援をスムーズに行う体制づくりを行っている。

また、女性に多い健康課題やその対応に関する研修を行い、自身の健康に対する対処方法や、男性従業員や管理者がどのように対応するべきかを考える機会を提供することで、実際に周囲に健康課題を抱えた従業員が出た場合の働きやすい環境づくりについてのイメージを育てている。

■専任の女性薬剤師によるサポート体制

社内相談窓口の設置をおこなった。相談は面談に限定せず、電話や手紙・電子メール等でも可能とし、面談を行う際はプライバシーを確保し、相談者が相談することによって不利益な取扱いを受けないことを明確にしたうえで、カウンセリングを行うこととしている。

■ストレス解消！

業種柄、人命に関わりかねない業務であるため、日々気を張っている従業員に、心身ともにリフレッシュできる機会を提供するため、様々な活動を行っている。

①ゴルフ部

ゴルフプロレッスン料を会社負担し、部員のストレス解消と運動不足解消を図っている。

②スポーツジムの法人会員

入会希望者に対しては費用負担を行っている。

③親睦会

バーベキュー、クリスマス会、社員旅行、食事会、忘年会



親睦会の様子

■食事支援

社員の健康づくりを食からもサポートしたいという思いのもと、管理栄養士が野菜摂取量の増加・摂取塩分量の低減により注目した献立作成を行い、平成30年1月からは、食堂利用者には1日に必要な野菜摂取量の半分が摂取できるヘルシーランチを、市内展開中の各事業所にはヘルシー弁当という社内弁当の配達提供を開始している。



ヘルシーランチ

健診・受動喫煙対策の実施状況

■健診等の状況

・特定健診受診率 100 %

■受動喫煙対策の状況

全12拠点の内、全ての事業所にて、建物内禁煙、敷地内禁煙を達成

・建物内禁煙 5事業所

・敷地内禁煙 7事業所

■健康づくりの効果

ヘルシー弁当の利用者が年々増加し、非喫煙者の職員も増加している。
社員個々の健康増進への意識が高まっている。

株式会社シケン

事業所紹介

わたしたちは、さまざまな理由で歯を失ってしまった方や、歯の悩みを抱えている方に、元どおりの生活を取り戻し、さらにはより快適に過ごしていただくために、入れ歯や差し歯、矯正器具などの「歯科技工物」を提供するモノづくりの会社です。

当社では400名の歯科技工士(国家資格)が、患者さまおひとりおひとりに合った歯科技工物をフルオーダーメイドで製作し、口腔内の健康を守る仕事をしています。

歯科技工士が減少している現状において、歯科医院・患者さまへ安定的に歯科技工物を供給できるよう、採用・育成・定着に注力し、社員が働きやすい環境づくりを目指してまいりました。完全受注生産における時間外労働の抑制、社員の育児休暇取得、時短勤務制度の推進などに取り組んでおり、平成29年度には「四国でいちばん大切にしたい会社大賞・四国経済産業局長賞」を受賞いたしました。

歯科技工業界に急速に普及しているデジタル製作技術により、歯科治療はますます発展・多様化していくと思われまます。より良質な「歯」を提供することで、患者さま、社員、歯科に関わる全てのみなさまの健康的な生活と豊かな人生をサポートし、当社スローガンである「共に成長できる歯科技工所」として永続的に親しまれる企業を目指します。

●経営理念

歯科技工業の企業化、組織化を通じて、歯科医療の発展、人々の健康に貢献するとともに、全社員の豊かな人生を創出する。

●共育ち方針

共に学び認め合うことで、人間的成長を果たし、歯科医院、仕入先、外注先の皆さまと共に繁栄します。

●顧客方針

自己研鑽を積み、歯科に関わる皆さまと共に、患者様に喜ばれるシケンブランド商品を提供し、メインラボとして永続的なパートナーとなります。



プロフィール

- ・所在地 : 徳島県小松島市芝生町字西居屋敷55-1
- ・事業内容 : 技工物の製造・販売、歯科材料の販売、咀嚼機能材料の研究・開発
- ・設立 : 昭和54年4月
- ・従業員数 : 664名(平成31年4月1日現在)

各種健診の受診率向上のための取組

特定健診受診率向上のための取組

■受診率100%を継続

- ・業務特性や休暇取得等のスケジュールを踏まえて健診日を設定し、本人の負担無く確実な受診を促している。毎年全員が定期健診または人間ドックを受診している。
(出産育児等の休職者除く)

■個人の健康づくりを応援

- ・基本の健診項目に加えてオプションとして選択できる健診を、業務時間内に受診可能としている。体の不調や気になる部分を気軽に解決できる機会としてもらい、社員自身が体調管理を行うサポートをしている。

■健診後は二次検査のフォロー

- ・受診後、二次検査対象者へ検査案内を個別に送付。公用扱い(休暇1日分相当、時間単位で外出等も可能)で医療機関受診ができる。
- ・二次検査の結果報告書を会社で保管し、経過を追っている。

受動喫煙防止対策の取組

全社建物内全面禁煙の実施

- ・平成18年1月より全社の建物内全面禁煙を実施。屋外喫煙所を設置し、受動喫煙防止につとめている。



<屋外喫煙所>

事業所での健康づくりの取組

様々な健康づくりの取組

■インフルエンザ等の集団感染防止

- ・平成21年より、感染が集団化しやすい環境である製造部門にはオゾン殺菌空気清浄機を設置、併せて全社にアルコール手指消毒液の設置を徹底している。また、インフルエンザ感染者が出た場合は情報共有し、全社へ注意喚起を行っている。
- ・希望者には、インフルエンザ予防接種を業務時間内に実施。

■こころの健康づくり

- ・平成26年～ タイムカードシステムの導入
社員の労働時間を迅速かつ正確に把握するために、ネットワーク型のタイムカードシステムを導入。長時間該当者へのアラートなどリアルタイム管理を行い、長時間労働の抑制に繋げている。
- ・平成28年～ ストレスチェック実施を開始
職場環境の改善やメンタル不調者の発生を未然に防げるよう、個人のストレス値を部署・部門ごとに集計・分析している。
- ・平成29年～ 社内相談窓口として「シケンほっとライン」を設置
仕事や人間関係の悩み、働き方への要望などについて電話、メール、封書で相談でき、問題解決に向けての一步を踏み出すサポートを行う。
- ・平成30年～ CSR活動
小松島市の主催・関連するイベントに積極的に参画。こどもたちに遊びの場(ビーズアクセサリーづくり体験)を無料で提供し、親子や地域での交流の場をつくっている。
- ・社員アンケートの実施(年1回)
記名、無記名の全社員アンケートを隔年で実施している。記名アンケートは仕事、働き方、スキルアップについて具体的に要望をヒアリングする。
無記名アンケートは社員が会社を採点する内容になっており、改善に取り組んだ結果を数値で確認できるようにしている。
- ・経営幹部による社員面談(年1回)
上長による定期面談のほかに、他部署の経営幹部による社員面談を実施し、社員の小さな意見を大切にしている。



<インフルエンザ予防接種>



人事直通TEL
相談専用MAIL



ご相談内容やプライバシーに関する情報は、ご本人の同意なく第三者へ提供することはありません。



こんな相談ができます

※匿名でのご相談は、匿名で
お問い合わせいただけます。

・仕事がうまくいかない…

・モチベーションが低い…

・職場のハラスメント・セクハラ ほか

ご相談する際は
事前に所属
部署や職種
をお知らせ
ください。



<CSR活動の様子>

<シケンほっとラインのチラシ>

健診・受動喫煙対策の実施状況

■ 健診等の状況

- ・特定健診受診率 100 %
- ・特定保健指導実施率 80 %

- ・生活習慣病予防健診受診率 100%
(35歳以上)

■ 受動喫煙対策の状況

- ・建物内禁煙 平成18年1月から

■ 健康づくりの効果

- ・禁煙に取り組む社員が増え、年間数名ずつ成功者が出ている。
- ・インフルエンザ等の感染者が減少した。
- ・長時間労働の抑制により、36協定内容の遵守に繋がっている。
- ・お昼休みに自主的にウォーキングをしたり、休日に社員やその家族と集まってスポーツ大会(バレーボールやドッジボール等)を開催したりなど、社員の健康への意識が高まった。

健康づくり推進活動功労者表彰(企業部門)

徳島県では、健康づくりに取り組む事業所の輪を広げ、団体・企業内での健康づくりを更に促進するために、積極的に従業員や地域住民の健康づくり活動を行い、他の模範と認められる団体・企業について、平成26年度から知事表彰を実施しています。

健康づくり推進活動功労者表彰式 (令和元年度健康を考える県民のつどい)



【株式会社アルス製作所 様】



【大塚テクノ株式会社 様】



【株式会社グローバル・アシスト 様】



【株式会社シケン 様】

職場で取り組む
健康づくり取組事例集 Vol.6

令和2年3月

発行 徳島県保健福祉部健康づくり課

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1-1

電 話 088-621-2223

ファクシミリ 088-621-2841